

## 青森市清掃工場の調査について（案）

- 1 調査日時 平成28年10月24日（月）午後1時30分から3時30分まで（予定）
- 2 調査施設 青森市清掃工場（青森市大字鶴ヶ坂字早稲田 241 番地 1 他）
- 3 調査目的 最新の廃棄物処理施設を見学・調査し、基本計画検討にあたっての知見を得るため
- 4 調査項目 別紙 調査表のとおり

## 焼却処理施設等に関する調査票

区分	調査項目	貴市(青森市清掃工場)	函館市(日乃出清掃工場)
施設概要	1 焼却炉形式		全連続燃焼式ストーカ炉
	2 対象とするごみ		生ごみ, プラスチック類, 紙ごみ等の可燃性ごみ(皮革, ゴム, 草木類を含む。)
	3 年間処理量		90,718.79t (H27実績)
	4 処理能力		420t/日 (1,2号炉 120t/日 × 2基) (3号炉 180t/日 × 1基)
	5 ごみピットの最大貯留量		約1,050t (比重0.35換算)
	6 非常用発電機による立ち上げ		焼却炉の立ち下げと必要最小限の設備への供給
環境保全対策	7 排ガス処理方式		バグフィルター
	8 減温塔の設置		有り
	9 白煙防止装置		無し
	10 排ガス規制値 ばいじん 硫黄酸化物 窒素酸化物 塩化水素 ダイオキシン類 水銀		0.04g/m <sup>3</sup> N 11.5 (K値) 250ppm 700mg/m <sup>3</sup> N 1, 2号炉0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N 3号炉1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N 無し
	11 排水処理方法		下水道放流
エネルギー利用方策	12 発電能力・発電効率・総発電量		発電能力 1,660kw 発電端効率 9.22% 発電量 12,644,829kwh (H27実績)
	13 発電利用		○場内利用 工場運転用電力・事務所棟電力として利用 ○場外利用 売電4,011,547kwh (H27実績)
	14 余熱利用		場内: 場内給湯, 暖房, 敷地内ロードヒーティング 場外: 下水道処理施設汚泥消化槽の加温, 公衆浴場への給湯

区分	調査項目	貴市(青森市清掃工場)	函館市(日乃出清掃工場)
管理運営等	15 焼却灰等の処理方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却灰:市有の最終処分場に埋立</li> <li>・飛灰:薬剤処理後,市有の最終処分場に埋立</li> <li>・焼却灰・飛灰の埋立量11,569,46t (H27実績)</li> </ul>
	16 運営職員数		市職員 22 名 委託職員 28 名
	17 施設の所有者および維持管理者ならびに管理体制		所有者:函館市 維持管理者:函館市 管理体制:一部委託(運転管理業務(クレーン操作,監視,記録,保守点検整備など))
	18 施設の使用開始年度,建設費(用地取得経費を除く),使用終了予定年度		1,2号炉 昭和50年2月 3号炉 平成4年4月 1,2号炉 当初建設費 908,238千円 改造工事費 6,650,882千円 3号炉 当初建設費 4,303,710千円 改造工事費 2,767,618千円 平成12~15年度の期間で実施したダイオキシン削減対策改造工事で,1,2号炉については基礎工事を含む抜本的な改造工事を実施  今後,焼却炉壁の補修等の延命化工事を進め,平成38年度まで使用予定
19 施設建設地選定の経過について			
広報・啓発手法	焼却施設に係る市民等への広報・啓発事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの維持管理状況の公表</li> <li>・施設見学の実施(H27見学者1,481人)(小学生,住民等対象)</li> <li>・環境副読本(小学生対象)による施設紹介</li> </ul>

### 破碎処理施設等に関する調査票

区分	調査項目	貴市(青森市清掃工場)	函館市(日乃出清掃工場)
施設概要	1 破碎処理施設の名称		/
	2 対象とする廃棄物		
	3 施設処理能力		
	4 施設ピットの最大貯留量		